

ROTARY CLUB OF

KANAZAWA-NORTH



金沢北ロータリークラブ

例会日：木曜日 12:30～13:30

例会場：卯辰山・ホワイトハウス

事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所

TEL <0762> 22-2525

会長：小杉善二 幹事：塩村喜代次

情報委員長：米沢修一

1979・12月27日 第156号



古典的美意識と七五三

友禅作家 由水 十久氏

涙とはおかしなもので、自分では意識をしないのに流れ出て仕方がない時がある。

一輪の花の美しさに……踊を舞う名手の心意気に……又、一生懸命とび廻る幼い子供らの動作一つにさえも涙する。

それはその時を精一杯生きようとするものに対する感動と、隠された美しさに自分の心が打たれてそうさせるのであろう。

たとえば花を絵にするとき、その花を最大限に表現するにはいろいろな技法がある。しかし絵という芸において外面の美よりも内面的に花の美しさを探求することが根底として必要なのである。

自然という空間の中で新芽から枝葉を広げ、つぼみ、ほころび、開き、そして散るまでの儂い状況を美として受けとめる心、その心こそ先人達が日常の体験を通して得た美意識なのである。

天・地・人や上・中・下など系列の言葉としての七・五・三もこうした美的観の一つである。

ものを七と五と三としてとらえ見るのは絵の世界だけではなく全ての芸術についても言えるのではなかろうか。

美に感動する。それは人間へのそして自然への愛情の証であり絆でもあるのだ。

—金沢北RC例会講話から— (文責 米沢修一)



文化財拝見

⑩ 三尊来迎図

山の上町 心蓮社蔵

平安後期の代表作で大正14年国宝指定。

昭和25年重要文化財指定、現在奈良国立博物館に管理を依託してある。

往来者が間近になると観音勢至は阿弥陀を超越し、先頭に立ったかのように描かれ、三尊来迎図の単純な構成に最大限の変化を盛りこもうとしている意図が明らかである。



私の名刺

才田 次男



11月1日、会長はじめ役員の方々のご承認を賜わり、名誉ある金沢北ロータリークラブに入会させていただきました。

ロータリーに関しましては、何も知らない者ですが、今後は研修会の折、お伺いいたしましたロータリー精神を、例会に出席することによって体得して参りたいと存じます。

何卒宜敷くご指導頂きます様お願い申し上げます。

私は大正10年9月15日豊橋市で生まれました。父の軍務の関係で出身地を離れて育ちましたので、大阪の住吉中学校、早稲田大学商学部を経て昭和22年北国銀行に入行いたしました。その間軍隊生活を2年弱送り、また、大阪での戦災を機に金沢へ帰ってきたものです。

子供の頃、父親も故郷の事が忘れられず、よく金沢の事を聞かされましたが、その中で「先祖は河北潟の近くにある才田という村から出た足軽で、才田村から出たから才田と名乗った」と言った事が今でも忘れません。家には日本刀が5～6本ありました。墓には文政11年と刻されてありますので、恐らく200年程前に才田村を出て、足軽として誰かに仕えていたのでないかと想像しております。

当クラブの区域限界に才田町がありますが、今回入会させていただいたことも何かのご縁でないかと感謝しております。

私の銀行員生活も30年を超えました。職業を通じて沢山の方々とお近づきいただきました。そして多くの業種の方々とお話してることによって、私自身大変勉強させていただきました。

そして8年前から電算機部門を担当しております。これは私にとって全く新しい分野であり、技術的なことは到底判りません。私の役目は、一言で言えば如何にして電算機を有効に利用するか、であります。今までのことを振りかえって見ますと、兎角目先の事ばかりに追われ勝ちで先を見る目が欠けております。先を見る目は日頃の研鑽によって育成されるものと考えますから、結局私は勉強不足であったと白生せざるを得ません。

今後は、私の職場を通じて、銀行のコンピューター利用を如何にして社会に奉仕できる様にすべきかを、経営理念として忘れないようにするのが、新入ロータリアンとして第一歩でないかも考えております。

どうか、未熟な新入会員に宜敷くご指導方を再びお願いしましてご挨拶申し上げます。

新入会員紹介



長谷川 塑人 陶磁工芸

東山2丁目9番1号

TEL 52-3848

涌波3丁目4番24号

TEL 31-3345

会員番号 69

夫人 久子

趣味 書道

入会 1979(昭54)12

長男 哲郎

剣道

誕生 1935(昭10)6-5

次男 靖二

音楽

結婚 1961(昭36)10-31

所属委員会 親睦

推薦者 大場勝雄・魚住安彦

楽しく和やかにクリスマス家族会

恒例のクリスマス家族会は12月20日ホワイトハウスにて行われ、会員とご家族 150名近くが親睦の和を拡めた。

会員の鈴木夫妻による琴と尺八の演奏をはじめとして、もちつきやゲームに歓声を上げた。中でも英会話クラブ全員の寸劇では一年間の勉強の成果を披露、喝采を浴びた。

さらに交換学生のジョン君飛び入りでホワイトクリスマスを歌うなどムードは最高……。終りにラッキーカード抽選、プレゼント交換などがあり、新しく迎える1980年に飛躍を念じつつ全員声高らかにソングを歌い幕を閉じた。親睦委員の皆さんご苦労さま。



